

川越市児童発達支援センター 通園ひかりが大切にしていること・遊び

～「たのしい」「うれしい」「こちよいい」から育つ心と身体～



通園ひかり

飯田 美智子



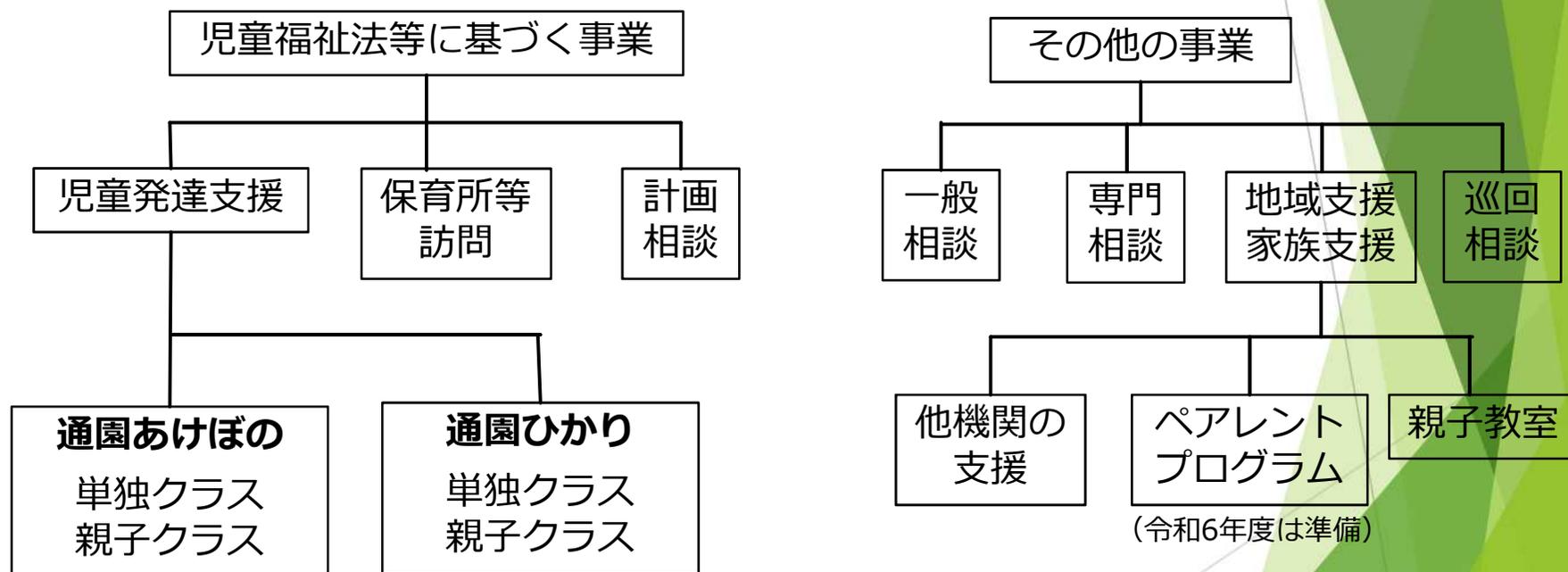
川越市マスコットキャラクターときも

川越市児童発達支援センターってどんなところ？

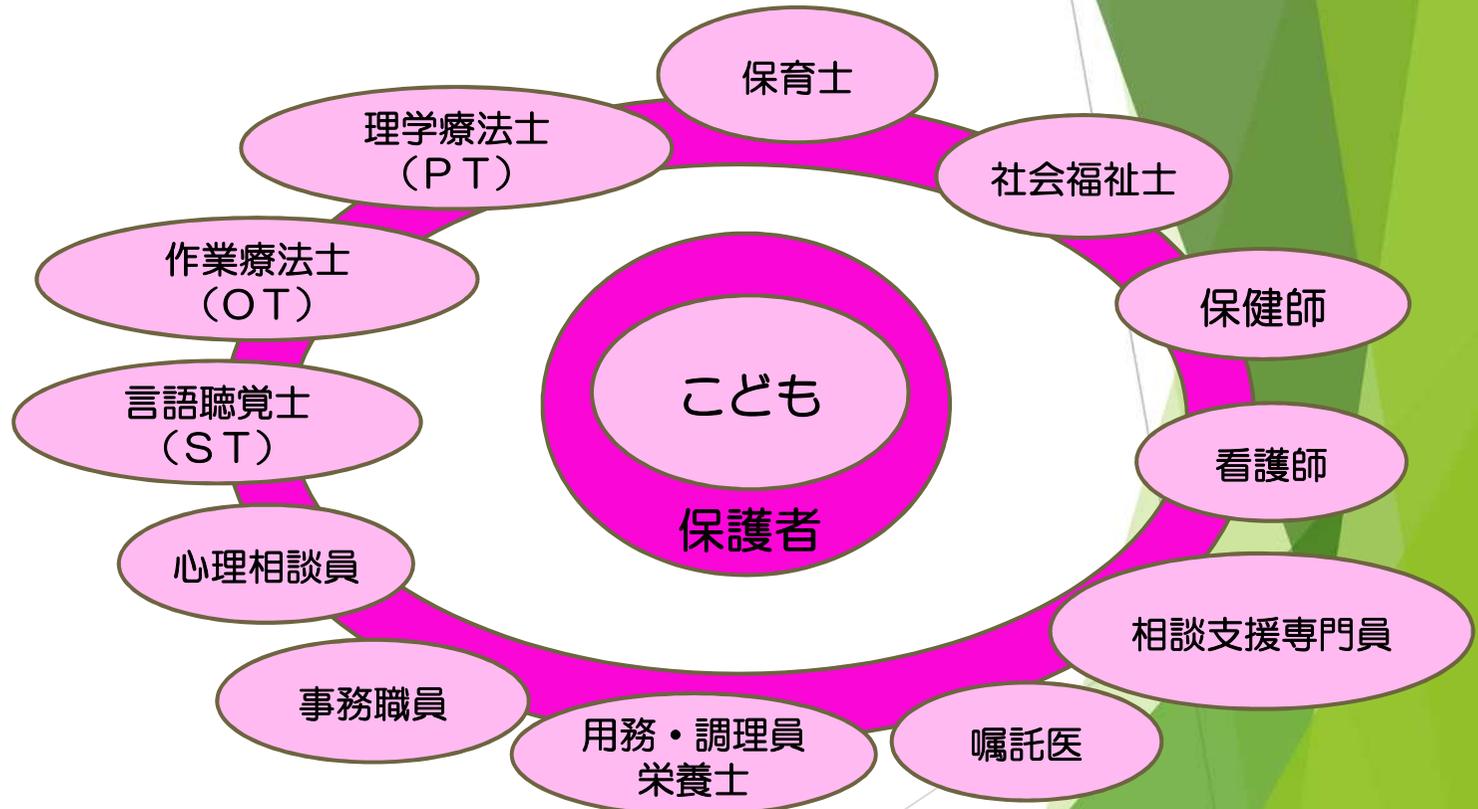
- ▶ 川越市が運営する児童福祉施設（2019年4月～）
- ▶ 主に就学前の発達や発育に不安や心配のあるお子さんの育ちとご家族の子育てを支援しています。



川越市児童発達支援センターの実施事業



川越市児童発達支援センターのチームメンバー



- ＜その他関係機関＞
- 幼稚園、保育園、認定こども園等
 - 学校、教育委員会
 - 市役所各課
 - 病院
 - 保健センター
 - 児童発達支援施設
 - 放課後等デイサービスなど

クラス構成

通園あけぼの

- ・主に言葉の発達や行動に心配のあるお子さん

単独 クラス

- ・お子さんのみが登園（週4日または5日）
- ・1クラス6～7人（担任4～5人）
- ・10時～15時（給食あり）
- ・親子登園日あり

親子 クラス

- ・幼稚園や保育園等に所属しているお子さんと保護者
- ・週1日（9時半～12時半）
- ・お弁当持参

通園ひかり

- ・主に運動発達に心配のあるお子さん
- ・医療的ケアの必要なお子さん

単独 クラス

- ・お子さんのみが登園（週4日または5日）
- ・1クラス6～7人（担任4～5人）
- ・10時～15時（給食あり）
- ・親子登園日あり

親子 クラス

- ・親子で登園（幼稚園等の所属の有無は問いません）
- ・週1日または2日（10時～13時）
- ・お弁当持参

医療的ケア児が在籍するクラス

酸素療法、経管栄養、喀痰吸引等が必要なお子さんが、通園ひかり
単独クラスで毎日元気に生活しています。

いちご組

医療的ケア児 3名
肢体不自由児 3名

もも組

医療的ケア児 4名
ダウン症児 2名

(令和6年度)

*親子クラスでも医療的ケア児を受け入れています。保護者に
医療的ケアを実施していただいています。

通園ひかりが大切にしていること

- ◆お子さんを真ん中に保護者との連携を大切にしています。
- ◆職員がチームとなり連携しながら、お子さんと保護者を支援しています。



看護師と保育士との連携

- 登園前の活動の確認（活動の計画について→
看護師、保育士の割り振り、内容、時間、参加の仕方など）
- 降園後の振り返り（情報共有、次に繋げる話し合い）
- 医療的ケアにおける連携
喀痰吸引、経管栄養、酸素管理、与薬、体調確認、
チューブ管理、計画、マニュアル等の作成、管理、改訂など
- 医療的ケア以外の対応
 - ・ 発作、発熱、怪我
 - ・ 様々な研修の実施

様々な研修

発作、ブコラム投与、AED、
喀痰吸引、感染症、
ケース検討会、虐待、など



単独クラスの一日の流れ

- 10 : 00 登園（身じたく 自由遊び 排泄）
- 10 : 30 朝の会
- 10 : 50 設定保育（プール、感触、運動遊びなど）
- 11 : 45 給食
- 13 : 00 お昼寝または自由あそび
- 14 : 30 身じたく
- 14 : 45 帰りの会
- 15 : 00 降園



あそびで大切にしているところ

- (1) 安全に遊べるようにアセスメントからの個別対応
(クラスの中での参加の仕方)
計画、準備、活動、振り返り、情報共有
- (2) スキンシップからコミュニケーションの土台作り
- (3) 五感を使った遊び (感覚統合)
- (4) 毎日の繰り返しから分かりやすく安心が持てる活動
- (5) 活動の予告、はじまりと終わり、
分かりやすい伝え方の支援

(1) 安全に遊べるようにアセスメントから個別対応 ～クラスの中での参加の仕方～

(計画、準備、活動、振り返り、情報共有)

- ▶ アセスメントからあそびの計画、準備を1人1人個別に行い、クラス活動にどのように参加するかを検討します。
- ▶ あそびの計画 (看護師と保育士の割振り、場所、時間、用具、介助方法、医療的ケアの時間や場所など)
- ▶ 準備 (それぞれ何が必要か事前準備を登園前までに行う)
- ▶ 振り返り、情報共有 (次の活動の計画に繋がるように)

プールに入るための個別の計画準備

各たんぽぽで、プールの流れ(表、裏)
たんぽぽの活動プログラム表(たんぽぽの活動)・時間(活動)表(たんぽぽ)

たんぽぽ	活動内容	たんぽぽ	たんぽぽ	たんぽぽ	たんぽぽ
たんぽぽ	① プールへ移動	たんぽぽ	② プールに入る	たんぽぽ	③ プールから出る
たんぽぽ	④ プールで遊ぶ	たんぽぽ	⑤ プールから出る	たんぽぽ	⑥ プールから出る
たんぽぽ	⑦ プールで遊ぶ	たんぽぽ	⑧ プールから出る	たんぽぽ	⑨ プールから出る
たんぽぽ	⑩ プールで遊ぶ	たんぽぽ	⑪ プールから出る	たんぽぽ	⑫ プールから出る
たんぽぽ	⑬ プールで遊ぶ	たんぽぽ	⑭ プールから出る	たんぽぽ	⑮ プールから出る
たんぽぽ	⑯ プールで遊ぶ	たんぽぽ	⑰ プールから出る	たんぽぽ	⑱ プールから出る
たんぽぽ	⑲ プールで遊ぶ	たんぽぽ	⑳ プールから出る	たんぽぽ	㉑ プールから出る
たんぽぽ	㉒ プールで遊ぶ	たんぽぽ	㉓ プールから出る	たんぽぽ	㉔ プールから出る
たんぽぽ	㉕ プールで遊ぶ	たんぽぽ	㉖ プールから出る	たんぽぽ	㉗ プールから出る
たんぽぽ	㉘ プールで遊ぶ	たんぽぽ	㉙ プールから出る	たんぽぽ	㉚ プールから出る
たんぽぽ	㉛ プールで遊ぶ	たんぽぽ	㉜ プールから出る	たんぽぽ	㉝ プールから出る
たんぽぽ	㉞ プールで遊ぶ	たんぽぽ	㉟ プールから出る	たんぽぽ	㊱ プールから出る
たんぽぽ	㊲ プールで遊ぶ	たんぽぽ	㊳ プールから出る	たんぽぽ	㊴ プールから出る
たんぽぽ	㊵ プールで遊ぶ	たんぽぽ	㊶ プールから出る	たんぽぽ	㊷ プールから出る
たんぽぽ	㊸ プールで遊ぶ	たんぽぽ	㊹ プールから出る	たんぽぽ	㊺ プールから出る
たんぽぽ	㊻ プールで遊ぶ	たんぽぽ	㊼ プールから出る	たんぽぽ	㊽ プールから出る
たんぽぽ	㊾ プールで遊ぶ	たんぽぽ	㊿ プールから出る	たんぽぽ	㋀ プールから出る



(2) スキンシップから コミュニケーションの土台づくり

- ▶ 肌と肌のスキンシップから、人の温かさ、ぬくもり、信頼し安心できる関係を築いていく
- ▶ 安心して自己表現し、受け入れられる経験
- ▶ リラックスできる関係の中から、心と身体をのびのびと育む

スキンシップ

エンゼル体操、リズム、ふれあひあそび、なかよし体操、わらべうた、バナナ体操など

1	ロンドン橋	ふれあひあそび	介助者の両足指が座位
2	ぞうさん	ふれあひあそび	あおむけ
3	金魚のひろね	全身のリラクゼーション	あおむけ～寝返り～うつせ
4	ぞうさん	背筋・骨盤のストレッチ	あおむけ
5	キラキラ星	股関節の回旋運動	あおむけ
6	右足さのき、さのき	下肢のストレッチ、足への意識	あおむけ
7	ひこうき	首、背筋の力をつける	うつぶせ
8	お舟	頭部のコントロール、腹筋の加っめ	あおむけ、座位へあおむけ
9	おやゆびさんのおしりしり	手指のストレッチ、手への意識	座位、あおむけ
10	たんぽぽわたげ	バランス反応	座、立位(両足離し、正座) 膝立ち、立位
11	あたまの上でパン	両肩の重みをおろし出す	座位、立位

(3) 五感を使った遊び (感覚統合)

スライム、小麦粉粘土、片栗粉粘土、あずき、
ストロービーズ、新聞紙、ボールプール、
キネティックサンド、パタパタ (スズランテープ) 、
砂、プール、光、オーガンジー、氷、指絵の具、
楽器など

運動遊び

揺れ遊具、ロールマット、三角マット、
トランポリン、滑り台、トンネル、
梯子、公園の遊具など



オーガンジー



光遊び
ステンドグラス



手指を使う遊び（手と目の協応）



手作りおもちゃ



座位をとって、手を使いやすく

手や目がより良く使えるように、姿勢、椅子や机の工夫を療法士としていきます



(4) 毎日の繰り返しの活動
(分かりやすい、安心できる)

朝の会、呼名、帰りの会の歌、出席シール帳、お気に入りの玩具など

(5) 活動の予告、はじまりと終わり、
分かりやすい伝え方の支援
(伝えることは、尊重すること)

- ▶ 視覚、触覚、話すなど、お子さんそれぞれに分かりやすく、合った方法で伝えてから活動に入る
- ▶ 見通しが持てるように
- ▶ はじまりと、終わりが分かる工夫
朝の会、帰りの会、遊びの導入、
10カウント、おしまいのポーズなど

視覚支援

1日の流れを写真や絵で
分かりやすく



触覚支援

次の活動を
触覚で伝える工夫



その他の行事について

活動の節目や季節に応じた様々な行事を大切にし、
お子さんのところを育てています。

4月 入園式

7月 夏まつり

12月 お楽しみ会

5月 親子遠足

9月 お月見会

1月 保護者懇談会

6月 プール開き

10月 運動会

2月 豆まき、親子遠足

日曜参観

11月 親子遠足

3月 卒園式

● 定期的な行事

* お誕生会 * 公立保育園交流（年長児中心）など

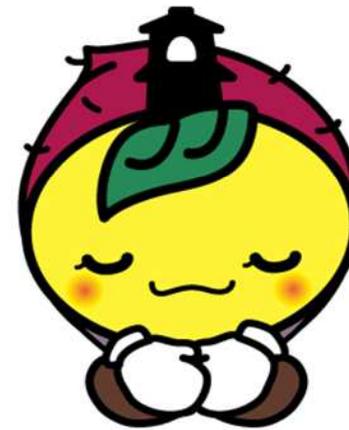


おわりに

医療的ケアのお子さんにとって、たのしい、うれしい、ここちよいと思える遊びが増えるヒントになれば幸いです。

医療的ケアのお子さんを支援する方がどんどん増えていく埼玉県になりますように。

ご静聴ありがとうございました。



川越市児童発達支援センター